

# 市民オンブズ岡崎

ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~onbokaza/>

NO.72

岡崎市伝馬通 2-33 千賀ビル 3F

「市民オンブズ岡崎」事務所

TEL&FAX(0564)25-9667

Email m039asihara@yahoo.co.jp

郵便振替 00870-0-91440 「市民オンブズ岡崎」

発行 2010. 8. 28

## 8月23日 不当判決

ガス化溶融炉の技術提案書情報開示請求の裁判は8月23日判決が出ましたが、全面的な敗訴でした。

企業から数値データなどから技術レベルが推量できるとして競争上の不利益が生ずるといわれ、自治体が法人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあると主張さえすれば、具体的なおそのの中身まで踏み込まずとも非公開でよいとする平成19年大阪高裁判決を踏襲した不当な判決でした。被告岡崎市の主張そのままの何の努力も独自の主体性もない判決でした。このまま容認するわけにはいかない判決です。

詳細は後日お知らせします。

## トヨタテストコースの見学会を行いました。

岡崎市額田地区と豊田市下山地区にまたがる660haにも及ぶ地域を愛知県企業庁が買収し、これを造成してトヨタに売却する計画が進んでいるオンブズ主催の現地見学会に10数名の参加を得ました。

当日の報告は次の通り。

## トヨタのテストコース現地見学会報告

### 〈トヨタのテストコース計画〉

トヨタ自動車はいま、岡崎市と豊田市の境にまたがる660haの広大な里山を切り開いて、テストコースを計画中です。このうち、山林を削り、田畑を埋立てて平地化する造成面積は270haとか。総面積はセントレア(580ha)よりも広い!

この計画を知った私たちは、ぜひ現地を見てみたいと思い立ち、6月20日に現地見学会を行いました。案内をお願いしたのは織田重己さん。

織田さんは岡崎市内で歯科医院を運営する歯医者さん。野鳥観察を約30年間続けてこられたバードウォッチャーで、20年前に「岡崎野鳥の会」を組織した人。そして、07年11月には「21世紀の巨大開発を考える会」を立ち上げて、トヨタ自動車のテストコース計画の反対運動に取り組んでおられます。

## 《もの言わぬ地主たち》

当日、集合場所の下山 A コープには 15 名が集まり、織田さんから資料をもとに概略の説明を受けた後、車 5 台に分乗して計画地へ入りました。

織田さんの説明によると、

- 1 計画中のテストコースは 6 ㌔の周回路、2 ㌔の直線コース、4 ㌔の周回路など 14 コース。テストコースの他にも研究棟・実験棟・厚生施設なども建設され、完成すると約 4000 名の研究者と社員が働くというから、インフラ面の環境負荷もきわめて大きい。
- 2 さらに予定地には、織田さんたちの地道な観察により、極めて珍しいサギ科のミゾゴイ（織田さんもここで初めて見たとのこと）や、猛禽類のサシバ、オオタカをはじめ、30 種類の絶滅危惧種の野鳥が確認された。猛禽類はヘビを好み、ヘビはカエルを、カエルは昆虫を食べる。しかし、テストコースができればこの生態系は崩され、生物多様性の宝庫は消滅する。
- 3 さらに問題なのは、愛知県企業庁がトヨタ 1 社のために、私たちの税金で用地買収と造成工事を行い、完成後に格安の価格でトヨタへ譲渡するというゆ着ぶり。地権者を説得するため、豊田市や岡崎市の幹部職員まで動員されたという。

実はトヨタは 30 年前に独自でこの開発計画を立てたが、その時は地元の猛反対にあり挫折。しかしその後、山林や農地の後継者不足と、木材価格の極端な下落により、今回は地元で反対の声はなく、用地買収はすでに 95% が契約済みだという。

## 《荒れる里山》

織田さんは計画地内の 3 か所（最近耕作が放棄された広大な田圃 炭焼き窯 山中の昔の田圃）で私たちを止めて説明されました。

では、柵に囲われて耕作中の田圃が数か所ありました。これはトヨタが「開発のせいでミゾゴイがいなくなった」と非難されないための苦肉の策だそうです。では、地元ボランティアにより細々と炭焼きが行われていましたが、やるなら本気になって産業化しないと意味がないとのこと。では、40 年前には耕作されていたのに今は太い木が育ち、織田さんに教えられて初めて、昔の「あぜ」の跡が見てとれました。

## 《COP10 と愛知県の姿勢》

おりしも、今年 10 月に愛知県が開催県となって、名古屋市で COP10（生物多様性条約の締約国の第 10 回会議）が開かれます。この会議は「地球上の多様な生物をその生息環境とともに保全することの大切さ」を話し合い、世界に訴えるのが目的。

私たちは、この会議に集まる各国の人々に「愛知県はいま、トヨタと手を組んでこんなに無謀な生物環境の破壊計画を企んでいる！」と声を大にして知らせ、大恥をかかせて、計画を撤回に追い込むチャンスにできないかと思えます。トヨタは、リコール問題で国際的に集中砲火を浴びている最中なのだから、環境問題について、もっと謙虚にならないといけません。愛知県とトヨタはおそらく、「COP10 でこのテストコース計画が袋叩きにされるとまずいゾ・・・」と内心は恐れているはず。彼らは「生物多様性の宝庫を破壊するテストコース計画」のゴリ押しを、世界の人々に対して、いったいどのように弁解するのでしょうか。

（文責 天野茂樹）

8月例会で、市民オンブズでトヨタのテストコースを取り上げるのは、いかがなものかという質問が出ました。オンブズでは行政の施策の違法性、無駄な公共投資をチェックすることが目的であるべきで、自然保護とか生物の多様性を守るというような観点は別の団体で運動することではないか。

この件に関しては、企業庁が土地の買収にあたり土地収用の理由をどうしているのか、1企業の便宜を図るために不動産業のまねごとをする公共事業として問題がないだろうか？取得の仕方とその理由を問い合わせることになりました。このようなアプローチの仕方がオンブズ活動として適当でしょう。資料が手には入ったらさらに検討しましょう。



## 協力者募集

今年も岡崎市議会議員の政務調査費の文書開示  
政務調査費の使途を調査して下さるスタッフ募集  
参加連絡は市民オンブズ岡崎 渡邊まで

市民オンブズ岡崎の月例会は5月から毎月第1木曜日に変わりました

9 月例会のご案内

9 月2 日(木) P M 7 : 0 0 ~

岡崎中央図書館りぶら 1 F 1 0 2 A 会議室

